

エピソード

友達と一緒に太鼓をたたいて遊んだ後、今度は一人で場所を替え、いつも砂場で使っているお気に入りの大きなスプーンを手に持ち、木の机をトントンたたいて遊び始めました。「トントントン」と音が鳴ることを楽しんでいると、偶然スプーンとスプーンがぶつかり、『カンカン!』と高い音が鳴ったのでびっくり! 保育者の顔を見てニコッと笑い、もう一度スプーンとスプーンをたたいてみたり、机をたたいてみたりして音の違いを楽しんでいるようでした。

一人がたたくと何人かが寄ってきます。友達と顔を見合わせて、『一緒にたたくと楽しい』ということを感じているようです。



「みんなでドンドンドン! 楽しいね」と声をかけました。まだまだ一人で遊ぶことが多いですが、友達と同じ空間で同じことをする楽しさを感じてほしいと思いました。

ドンドンドン! 音がする! 楽しい!

・今度は道具を持って叩いています。たたいた時の手に伝わってくる振動や音の違いを感じています。



・スプーンでたたいた時に「トントントンって鳴ったね」と音を言葉で表現し、音を鳴らす楽しさを共感しました。

スプーンとスプーンだとカンカンカン! ちがう音がした!

・スプーンとスプーンをたたいたらこんな音が鳴るといふ新しい発見をして、びっくりしたと共にとっても嬉しさを感じたようです。



・「あれ? 今度はカンカンカンって鳴ったね! 違う音がしたね」と音の違いにびっくりしたA児の気持ちを言葉で代弁するように声をかけました。

・偶然見つけた音の違いに気づいた姿を大切にしたいと思い、その後も机をたたいた時は「トントントン」、スプーンをたたいた時は「カンカンカン」「楽しいね」と声をかけました。

ご家庭では

子どもが一人で遊んでいるときに、どんな表情をしているかちょっと観察してみてください。嬉しい・困った・驚いた・楽しい...いろいろな表情を見つかけられることを楽しめると思います。

↑
子どもの育ちと学び

↑
保育者の思い